

データのバックアップコピーについて

1. システムやデータの保全のためのバックアップ

✚ 当社の会計ソフトは、会計ソフトの中に実行プログラムやデータがあります。

📁 学校法人会計D2 学校法人会計の例

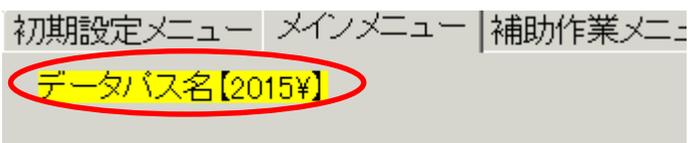
✚ このフォルダをコピーして、USB メモリーなどに保存すると、データもプログラムもすべて保存されますので、仮にパソコンが壊れてもシステムはすぐに復元できます。

✚ 複数の USB メモリーを用意して、ローテーションさせながらバックアップを取ってください。

✚ 過年度のデータもこのフォルダの中にありますので、同時にバックアップコピーがされます。

【補足】

データパス名が下図のように相対パス名で運用している場合は、会計ソフトのフォルダの中にデータフォルダが作られますので、上記の方法でプログラムもデータもバックアップコピーができます。



【注意】

データパス名が、絶対パス名や論理パス名の場合は、パソコンの管理者により、データのバックアップを行ってください。

2. 運用途中の一時的なバックアップコピー

上記の方法のほかに運用途中で頻繁に行うバックアップコピーを次の方法が便利です。

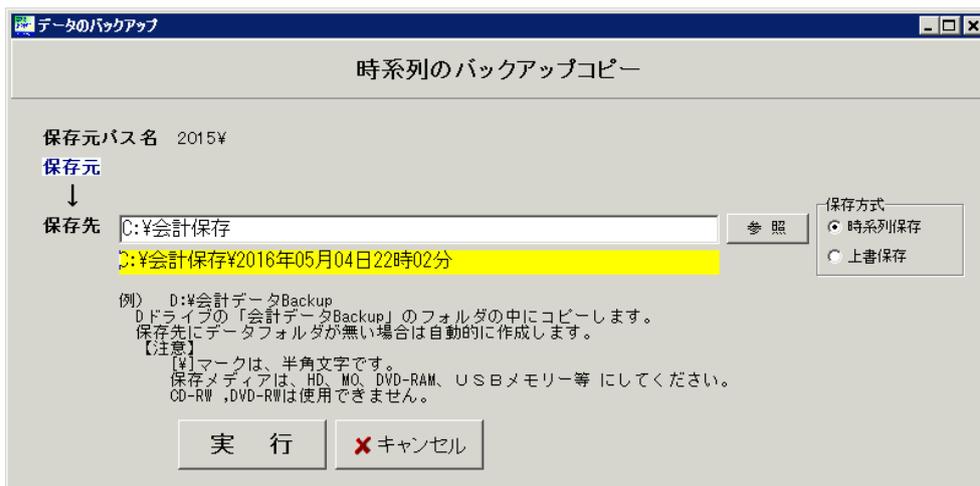
メインメニューでバックアップコピーのボタンを押してください。

部門の選択はどの位置にあっても構いません。



次のような画面になります。

既定値では、Cドライブの“会計保存”と云うフォルダの中に“年月日時分”のフォルダを作成して、この中にデータフォルダのバックアップコピーを作ります。



このバックアップは出来るだけ頻繁に行ってください。特に重要なアクションを起こす前には必ず実行してください。

このコピーを行うと、“会計保存”のフォルダの中にたくさん“年月日時分”のフォルダが増えてきますが、古いものは削除しても構いません。

3. 万一の時の復元

パソコンが壊れて、プログラムもデータも取り出せなくなった場合は、USB メモリーにバックアップを取っていた会計ソフトのフォルダを別のパソコンにコピー&貼り付けを行うだけで、バックアップコピーを取った時点まで戻せます。

4. 運用中にデータが不調になった時の対応

補助作業メニューの中に、次のようなボタンがあります。

この処理を実行してみてください。

破損ファイルの修復

データが何らかの原因で破損した場合、この処理を実行すると修復される場合もあります。この処理を実行する場合は、一旦ソフトを終了して再起動した直後に行ってください。

この処理の有効範囲は、概ね次の通りです。

- ✓ 運用途中急に電源が落ちた。
- ✓ 運用途中パソコンがスリープ状態になって、パソコンを強制終了した。
- ✓ 運用途中会計ソフトに何らかのエラーが起きて、託すマネージャーでソフトを強制終了した。

この処理でも正常にならなかった場合は、次の方法でデータを元にもとめてください。

5. 時系列で取ったバックアップデータの復元

- ✚ 会計ソフトを閉じて、会計ソフトフォルダの中にある該当年度のフォルダの名前をリネームしてください。
- ✚ 時系列で取ったバックアップデータは、“年月日時分”のフォルダの中にありますので、
- ✚ このフォルダの中にあるデータフォルダ（例 2015）をコピーして、会計ソフトの中に張り付けてください。

【補足】

簡単にデータの復元が出来ると、誤って現在のデータを失う危険がありますので、当社のソフトでは、復元ボタンは用意していないことをご了承ください。